

アンソニー・カルヴァロ（アンソニー）

ゴア・ダマン大司教区(AGD)

インド・ゴア州ゴア北部、パーネム

民族 / 部族: インド
母語: コンカニ語
宗教: キリスト教
職業: 司祭



仕事について：

「私は農村部の出身なので、農村部の人々と共に働くことが夢でした。農業は私たちの基本的な職業であり、収入源でした。だから、このコミュニティの苦労や苦難がよく分かります。私はいつも、自分の生まれ育ったコミュニティに何か恩返しをしなければならないと感じています。」

アンソニー・カルヴァロは、ゴア・ダマン大司教区のカトリック司祭です。彼は農業、漁業、観光業が盛んなインド・ゴア北部の出身です。ゴア北部では、農業への関心が低下し、雇用を求めての移住と観光業への過度の依存を招いています。アンソニーは、ゴアのラチョル神学校で10年間、ゴア南部のベナウリムの洗礼者聖ヨハネ教区で6年間、コミュニティの農業を率いてきました。そこでは農民が神父や神学生と協力して水稻、野菜、花の栽培を行っています。彼は、社会の貧しい人々や疎外された人々を、政府の有益なプログラムに参加させることを通して、彼らの権利の獲得を支援してきました。

アンソニーは、教区がゴア全土に有機農業のコミュニティ拠点を設定するのを支援したいと考えています。現在、ゴアでは牛乳を輸入しているため、コミュニティでの酪農も計画しています。また、教区が教育機会を提供し、農業を促進し、女性のための自助グループを設立するプロジェクトを支援することで、社会から疎外された人々のグループの発展に貢献したいと考えています。

送り出し団体について：

ゴアで500年の伝統を持つ現在のゴア・ダマン大司教区は、キリスト教徒がキリストの教えに従うことを奨励し、教育施設を統括し、共同体の福利のための活動を推進しています。また、コミュニティの農業、女性のエンパワーメント、宗教間協働の社会正義プログラムを奨励しています。アンソニーの卒業後、大司教区は彼の専門知識を活かして農村の農業コミュニティを発展させたいと考えており、アンソニーは、農民と政府をつなぐ新しいセンターで、農業、畜産、環境意識に関する研修を行う予定です。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)